

8月17日から第39回全国中学校ソフトボール大会に出場する花中ソフト部。8人の3年生を中心に、2年生10人と1年生5人からなる総勢23人のチームだ。

キャプテンの千葉梨々花(りりか)さんは、明るい雰囲気、メリハリのあるプレーが持ち味とチームを分析。「目標はベスト4です。声を出し、気持ちでは絶対に負けません」と意気込む。

初戦の相手は愛知県岡崎市立矢作北中。選手を率いる秋尾幸治(ゆきはる)監督は「走攻守のバランスが良く、全国に通用するチームに成長した。バラエティーに富んだバッターを生かし、チャンスを生かしたい」と全国制覇に向けて抱負を語った。

(取材日・8月13日)



菅原姫衣さん

すがわら・めい
3年

- 背番号…1
- ポジション…ピッチャー、ライト
- 持ち味…相手のスキを突くバッティング



佐藤優さん

さとう・ゆう
2年

- 背番号…2
- ポジション…キャッチャー
- 持ち味…強い肩



千葉里緒菜さん

ちば・りおな
3年

- 背番号…3
- ポジション…DP(指名選手・打撃専門)
- 持ち味…すどい打球



菅原菜々美さん

すがわら・ななみ
3年

- 背番号…4
- ポジション…ピッチャー、セカンド
- 持ち味…変化球



皆川亜耶さん

みなかわ・あや
3年

- 背番号…5
- ポジション…サード
- 持ち味…テクニカルなバント処理



皆川琳果さん

みなかわ・りんか
3年

- 背番号…6
- ポジション…ショート
- 持ち味…広い守備範囲



佐竹春香さん

さたけ・はるか
3年

- 背番号…7
- ポジション…レフト
- 持ち味…早くて強い打球。良いムードを作る



佐藤小雪さん

さとう・こゆき
3年

- 背番号…8
- ポジション…センター
- 持ち味…チャンスを作る



千葉梨々花さん

ちば・りりか
3年

- 背番号…10
- ポジション…ファースト、セカンド、ライト
- 持ち味…ひたむきなプレー

*各ポジションは対戦相手に応じて変更しています

東北中学校女子ソフトボール大会 準優勝
花泉中ソフトボール部



ソフトボール softball

一戦必勝の心意気で試合に挑む

激戦を勝ち抜き
2年連続で全国へ

中学生女子のソフトボール全国大会は3つある。春に行われる「一つ目は「都道府県対抗全日本中学生女子大会」、二つ目は「全国中学校女子大会」、三つ目は「全日本中学生女子大会」だ。

都道府県大会は2005年創設。毎年2月に開かれ、学校単位ではなく、都道府県で選抜チームを編成。48チーム(開催地は2チーム出場)が出場する。

全日本中学生女子大会は01年創設。大阪・舞洲で開かれ、クラブチームでも参加できる。

3つの中で最も歴史あるのが全国中体連「全国中学校女子大会」。例年8月に開かれ、「夏の大会」と呼ばれている。1979(昭和54)年から今年で39回目を数える。高校生のインターハイのように「総合体育大会」(全国中学校体育大会)の中で行われる大会で、都道府県

予選、地区予選(北海道、東北、関東、北信越、東海、近畿、中国、四国、九州の9地区)の予選を勝ち抜いた24チームによって競われる。

この全国大会へ出場を決めたのが秋尾幸治監督が率いる花泉中ソフトボール部だ。

同部は5月5日に行われた「東北中学校女子ソフトボール選抜大会」で優勝。続く、7月17日に行われた「岩手県中学校総合体育大会」では2年連続で優勝した。

8月6日の「東北中学校女子ソフトボール大会」では、強豪秋田県の東雲・能登東中と対戦した。4回に1点をリードした花泉中は、7回で同点に追いつかれる。一進一退の攻防の末、延長9回で5-3で惜しくも敗れ、準優勝となった。それでも同部の全国大会への出場は2年連続。8月17日から鹿児島県日置市で開かれる全国大会での活躍が期待されている。